

# いちご栽培管理 (R5.10.)

(有) 丸 富

9月は彼岸頃まで記録的な猛暑で干ばつ傾向だったが、時折線状降水帯が出来て、各地で大雨が発生した。苗は高温により花芽分化が遅れたが、未分化定植したところが多かった。各地で苗不足傾向だった。

## 活着促進

確実に花芽分化して定植した場合、定植後7日以内に、根回し水(灌注)を2回行う。発根剤などは腋(二番)花房の花芽分化を遅らす恐れがあるので、腋(二番)花房の花芽分化20日前以降は施用しない。  
酸素供給と活着促進に**GバランスDF 5,000倍**と**天地の恵み 1,000倍**と**サンミネーラ 10,000倍**を灌注する。

## 腋(二番)花房の花芽分化

遠日点で、且つ新月後は花芽分化しにくい。腋(二番)花房の花芽分化を確認して、その後の管理を行う。  
腋花房の花芽分化に**時を越えた贈り物 1,000倍**と**酸カル 2,000倍**と**サンミネーラ 10,000倍**を散布する。

## 品質の向上

花芽分化後、開花後の細胞分裂期に品質(果形)や肥大、糖度(味)は決まる。花芽分化前後の10~15日や開花前後の7~10日の管理で品質が大きく左右する。腋(二番)花房の花芽分化期は元肥が効いているので、確実に花芽分化して、液肥や発根剤を施用する。

花芽分化したら**天地の恵み 1,000倍**と**サンミネーラ 10,000倍**を散水又は灌注する。(防除時混用でも可)

## 病害対策

遠日点では根の働きが悪く、病害の発生が多いので、窒素過多に注意しながら株の管理を行う。軟弱徒長や窒素過多が病害の発生を助長する。

細胞壁の強化と病害抵抗力の向上に**酸カル 2,000倍**と**サンミネーラ 10,000倍**を防除時に混用散布する。

## 害虫対策

害虫の発生予防に事前対応する。ハウス周辺からの病虫害のハウスへの侵入を注意する。

害虫の事前対策に**バイオアクトTS 2,000~3,000倍**を防除時に混用散布する。

灌水(散水)時に**バイオアクトTS 50~100cc/10a**を混用する。(モグラ、ネズミ、害虫対策の事前対応)

## 追肥(液肥)

施用量は肥料、土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥	1~2ℓ	} 5~7日毎に灌水する場合 ※状況に応じて加減する
時を越えた贈り物(又は酸カル)	100~200cc	
サンミネーラ	50~100cc	
バイオアクトTS	50~100cc	

※サンミネーラの代わりに

シリアップ 100~150cc、天然ミネラル 200~300cc、海藻のエキス 50~100gでもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 TEL (0942) 65-0123

FAX 0942-65-1091 (24時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)